

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和6年度第5回宮古市総合計画審議会を次のとおり開催しました。

令和6年12月26日

宮古市総合計画審議会

- 1 開催日時
令和6年12月12日（木） 午後3時00分～午後4時00分
- 2 開催場所
イーストピアみやこ1階 会議室1・2
- 3 議題
(1)総合計画（後期基本計画）原案について
(2)今後のスケジュールについて
- 4 会議の概要
別添のとおり
- 5 問い合わせ先
企画部企画課企画調整係 電話 0193-68-9064

令和6年度第5回宮古市総合計画審議会

1 出席者（24名）

①和川央 会長 ②植野歩未 副会長 ③加賀谷康司 委員 ④石井真吾 委員
⑤有原領一 委員 ⑥伊藤重行 委員 ⑦細越伸 委員 ⑧中野貴子 委員
⑨中居泰雅 委員 ⑩中村陽香 委員 ⑪伊藤峻 委員 ⑫竹村育貴 委員
⑬伊藤純子 委員 ⑭雲然祥子 委員 ⑮小堀内将文 委員 ⑯野尻長 委員
⑰本多政彦 委員 ⑱田鎖憲幸 委員 ⑲岡村優希 委員 ⑳上之原良美 委員
㉑中村なつみ 委員 ㉒坂本紗綾 委員 ㉓武藤元 委員 ㉔志賀政信 委員

2 欠席者（4名）

①小野寺淳 委員 ②田澤範史 委員 ③福井喜朗 委員 ④佐々木フレデリカ 委員

3 事務局出席者（5名）

①多田康 企画部長 ②箱石剛 企画課長 ③工藤真奈美 企画調整係長
④竹田真吾 地域創生推進室長 ⑤三浦奈穂 主事 ⑥佐々木英明 主任

4 傍聴者

なし

5 報告事項

（事務局より説明）

「宮古市審議会等の設置および運営等に関する規定」第5条（4）に市議会議員を選任しない旨が定められていることから、令和6年10月27日執行の宮古市市議会議員補欠選挙において、当選した佐々木真琴氏、佐藤和美氏の両名を10月30日付で委員を解職とした。

5 議事等

（1）総合計画（後期基本計画）原案について

第4回審議会以降の主な修正事項の説明および各団体からの意見を受けて計画を修正した箇所の説明を行った。

（2）今後のスケジュールについて

第5回審議会以降のスケジュールについて共有した。

質疑応答内容

質問・意見	回答
【議題】(1))総合計画（後期基本計画）原案について 資料1 説明者…事務局 （委員） …P13 No14について 「近隣地域からの誘客も図るため」とあるが、インバウンドなどを考慮すると岩手県民、宮古市民に対すると限定しないほうが良いのではないか。 （委員） 近隣地域とはどこを指すのか。 （委員） P7について 基本施策Vおよび基本施策VIについて議会からの意見により見直したとあるが、大幅な変更となっている。どのような問題意識で変更を行ったのか経緯を教えてください。	（事務局） この部分の記載は第2回の審議会において、当市の観光の魅力を外に発信する前に、市民、県民にしっかりと周知する必要があるというご意見からこのような記載としたもの。そのご意見も踏まえたうえで、「近隣地域からの誘客も図るため」という文言を追加し、近隣地域以外にも発信するという含みをもたせた表現に変更した。 （事務局） 岩手県内を想定している。 （事務局） 基本施策Vは議会より、現状、課題からの施策の方向、基本事業それぞれの結びつきが弱いのではないかという意見をいただいた。全体的なつながりを意識した修正を加えた。 基本施策VIは担当課において、改めて現状と課題等を整理したなかで、見直しを図った。同時に教育振興基本計画の策定を進めており、総合計画との整合性を取りながら整理を行った。 基本施策VIIは「職員研修の充実」という基本事業は元々あったものの、職員の人材確保が大前提で必要ではないかという考えから、基本事業を追加した。

(委員) …P7について 基本事業１が「サーモンランドの魅力発信」という具体的なものから、「シティプロモーションの推進」という表現がはっきりせず、テーマ性が感じられない。	(事務局) 「サーモンランドの魅力発信」はサーモンランドプロジェクトというものを当市で実施している。文字通り大学進学就職で宮古を離れた若者に戻ってきてもらう取組。 この取り組みに加えて、地元出身者に限定することなくIターンも含めて、幅広くシティプロモーションを推進することにより、移住につなげるという考えから見直しを行った。
(委員) 例えば、セールスプロモーションは現場販売促進という意味。シティプロモーションは意味がぼやける感じがする。具体的に教えていただきたい。	(事務局) サーモンランド宣言を宮古市で行っているが、市内含めどの程度この宣言が認知されているか不透明。サーモンランドを前面に出して発信していくよりかは、市の広告、広報、SNS等でも幅広く市のPRを行っている。最近、シティプロモーションという言葉は幅広く使われている言葉ではないかと認識している。
(委員) …参考資料（原案）P156について 少年犯罪の目標値の考え方が自然に減少してきたから０件にするといった表現に見受けられることから表現を見直すべき。 …参考資料（原案）P163について 住宅耐震化率の目標値の考え方について、総合計画は市の最上位の計画に位置付けられている。下位計画の目標値がそのまま記載されるべきではない。表現を見直すべき。	(事務局) ご指摘のとおり見直しを行う。
(委員) …参考資料（原案）P132について 施策の方向の○の一つ目に「買い物困難者対策に取り組む」とある。いま、商業が抱えている問題とはかけ離れた古い文言が残っている。これに対する基本事業のぶら下がり	(事務局) 担当課に確認する。

もない。商業の振興に記載すべき表現ではないのかと思う。	
質問・意見	回答
(2) 今後のスケジュールについて 資料2 説明者…事務局 意見なし	